

2 噴霧式殺虫剤を噴霧してください

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さ比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3 ポリ袋を取り外してください

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。



粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

10. 故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
● 緑(電源)ランプが消灯している。	電源プラグが抜かれていますか。 電源ブレーカーが切れていませんか。 停電していませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ブレーカーを入れてください。 停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
● 緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報器の故障が知らせています。	販売店に連絡してください。(機器故障音声機能)
● 緑(電源)ランプがゆっくり点滅している。	警報器の有効期限切れを知らせています。警報停止スイッチを1秒間押してください。	「 ピッ 有効期限が切れています販売店に連絡してください」と鳴りますので、新しい警報器に交換(有償)してください。(有効期限切れ音声機能)
● COの発生ではないのに、黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.6参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りのガス会社へ連絡ください。
● 電源を入れたときや、警報停止スイッチを1秒以上押し続けたときに「有効期限切れしています販売店に連絡してください」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.6参照)

12

5 取り付けかた

5-1 有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後5年間です。

必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。



5-2 警報音の切り替え

警報音は、音声(日本語、英語、中国語)またはブザー音に切り替えることができます。初期設定は日本語音声になっています。必要に応じて切り替えができますので、お客さまに確認してください。※ CO警報時に窓を開けないで換気扇を回してしまったり、負圧により室内にCOが流れ込むことがあるため、「窓を開けて換気してください」とお知らせする音声による設定を推奨します。※ 英語、中国語に切り替えを行っても、CO警報音以外は日本語音声となります。

〈警報音の切り替えかた〉

- ① 警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
 - ※ 緑(電源)ランプが点滅します。
- ② そのまま3秒以上「**音声です**」とお知らせした後、設定変更モードに入ります。



操作順	ランプ	音声お知らせ	警報音設定
1		「 ブザーです 」	ブザー
2	全ランプが	「 Danger 」	英語
3	1秒毎2回点滅	「 危険 」	中国語
4		「 音声です 」	日本語

- ④ 上記で選んだ設定の状態で、警報停止スイッチを3秒押し続けるか1分以上押し続けると「**ピー**」と設定変更モードの終了音が鳴り、電源投入時の緑(電源)ランプ点滅状態へ移行します。
 - ※ 設定を切り替えた後は、電源プラグを抜いても、切り替え後の設定を保持しています。
 - ※ 英語や中国語に音声を切り替えた場合は、日本語と英語(または中国語)が交互に鳴ります。

5-3 警報器本体の取り付け

△ 注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けられません。
- 警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。

18

11. 廃棄について

お客さまにて、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがって廃棄してください。

12. アフターサービス

- 警報器に異常がある場合は、修理を依頼される前に「**10. 故障かな？**と**思ったら**」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店に連絡してください。
- 添付の保証書に基づき、保証期間は警報器本体に表示された交換期限の期限内となります。万一異常が生じた場合は、速やかにご購入求めの販売店に連絡し保証書をご提示ください。
- 保証書の記載内容に基づき、販売店が点検または交換いたします。
- アフターサービスについて、ご不明点がございましたら、販売店に連絡してください。
- 引越しをされるときは、販売店に連絡してください。

13. 仕様

項目	仕様
対象ガス	燃焼排ガス中の一酸化炭素(CO)
検知方式	熱線型半導体式
警報機能	CO警報 作動条件 注意レベルを超えて550ppm以下 表示・発報方式 黄(CO警報)ランプ点灯 音声合成音 音声合成音 応答時間 5分以内
	CO注意報 作動条件 500ppmを超えて250ppm以下 表示・発報方式 黄(CO警報)ランプ点滅 5分経過後、音声合成音 応答時間 10分以内
外部出力信号	有線性オープンコレクタ出力(マイコンメータ専用) 監視時間 警報時0分、無警報時約40秒 出力信号遅延時間約40秒
警報音量	70dB(A)/m以上
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	監視時約0.6W、警報時約1.1W
使用温度範囲	0℃～+50℃(結露しないこと)
寸法・質量	幅85×高さ125×奥行き32.5mm(突起部を除く)約25g
電源コード	長さ2.5m予備コンセント付プラグ コード振り止め×3、木ねじ(φ3.1×10mm)×3、 木ねじ(φ3.1×16mm)×1、取付フック×1、 ピン(φ1.2×20mm)×10、接続用リード線、 取扱説明書(施工説明・保証書付)(本書)×1、 警告表示[CO警報器が鳴ったら]ステッカー×1
付属品	

14. 引きひもの取付方法

引きひもは別売品(H-H-O1)をご使用ください。引きひもがご要望のときは販売店にご連絡ください。

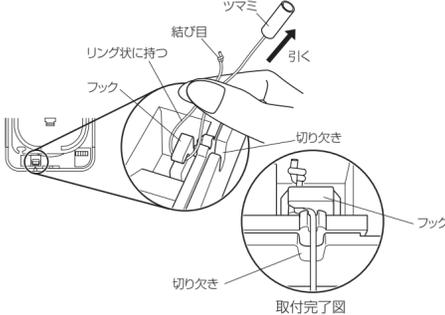
△ 注意

引きひもを取り付けるときは、警報器を取り外して作業してください。

警報器の取り付け・取り外しは高いところの作業となりますので、しっかりと踏み台を使用して、十分に注意して行ってください。転倒、転落、落下の原因になります。

13

- ① 図のように引きひものツマミが警報器の外側になるようにリング状に持ちます。
- ② 引きひもを斜めに引いて、フックに引っ掛けてください。
- ③ ツマミを引き、結び目をフックに通してください。
- ④ 引きひもを本体の切り欠きに通してください。



※ 引きひもを取り付けた後は、数回引きひもを引き、正常に操作できることを必ず確認してください。

施工説明(施工される方へ)

1 お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するためにこの施工説明には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 警告 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

2 施工される方へお願い

- 警報器を更新する場合は、交換前の警報器の電源プラグ部分について以下の確認を行い、お客さまに正しい取扱方法を説明してください。

- ① 電源プラグの刃が曲がっていないか
曲がっている場合は、電源プラグに大きな力を掛けないようにしていただくことを説明。
- ② 予備コンセントに接続される機器のプラグが曲がっていないか
曲がっている場合は、接続される機器のプラグに大きな力を掛けた使い方をしないようにしていただくことを説明。
- ③ 予備コンセント部が焦げしていないか
予備コンセントの容量を超えた消費電力の機器を接続しないようにしていただくことを説明。

14

- ④ 予備コンセントに接続される機器の消費電力が予備コンセントの容量を超えていないか
予備コンセントの容量を超えた消費電力の機器を接続しないようにしていただくことを説明。
- ⑤ 電源プラグ部分(予備コンセント含む)に水分やほこりがかかっているか
電源プラグ部分(予備コンセント含む)に水分をかけたこと、ほこりがかかっている場合は取り除いていただくことを説明。
- 取付終了後に施工説明書に従って「**6-1 自動初期点検機能の確認**、および必要に応じて「**6-2 作動点検**」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。
- また、マイコンメータと連動した場合は、マイコンメータの取扱説明書、施工説明書に基づいて連動点検を行ってください。
- 必要に応じて、「**3-1 警報器の説明**」「**3-2 お客さまへの周知事項**」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。
- 警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

△ 注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因になります。

3 お客さまへの説明について

3-1 警報器の説明

- ① 警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書を保管していただくことを説明。
- ③ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 1. CO警報の内容(黄(CO警報)ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と、警報時となるべき処置の説明。
 2. 部屋の外にいて、CO警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
 3. 誤報が発生する原因と処置の説明。
 4. スイッチ操作の説明。
 - マイコンメータとの連動点検
 - 有効期限切れ音声機能
 - 警報音停止

3-2 お客さまへの周知事項

- ① 保証期間5年。
- ② 警報器の有効期限のお知らせ。(本体に貼付の有効期限ラベルに表示)
- ③ 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ④ 警報器の移設禁止。(移設依頼時の連絡先)
- ⑤ 警報器の分解禁止。
- ⑥ 引越時の処置。
- ⑦ 故障・異常時の連絡先。

4 取り付け前の確認

4-1 警報器の確認

取り付ける警報器が燃焼排ガス中の一酸化炭素(CO)用であり、本体、電源コードに異常のないことを確認してください。

15

線を接続する箇所は、市販の閉端接続子等を用いて、圧着接続してください。



〈既に設置されているXH-453の配線を用いて、警報器を交換する場合〉

既に弊社型式：XH-453を設置されており、マイコンメータと接続しているところにXL-453Aを交換する場合は、マイコンメータの接続線をそのまま使用することができますが、XL-453Aは、XH-453と配線の色が異なります。

型式名	外部出力の極性・線色
XH-453	有極性(赤+、白-)
XL-453A	有極性(黄+、白-)

外部出力線の極性(黄+、白-)がマイコンメータの極性と合致していることを確認してください。

マイコンメータとの連動点検

- ① 警報停止スイッチを押すと「**ピッ**」と鳴り、緑(電源)ランプが点滅を開始しますので、そのまま3秒間押し続けてください。「**ピッピッ**」と開始音が鳴ります。
- ② 警報停止スイッチから手を離すと以下の動作を行います。

動作順	音声内容	ランプ		
		緑(電源)	黄(CO警報)	オープンコレクタ出力
1	「 ウーウーピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください 」	点滅	点灯	ON
2	無音	点滅	点灯	ON

(注) 上記の動作は連動点検用で、警報時の動作とは異なります。警報時の動作は取扱説明書を参照してください。

※ 警報音を切り替えた場合は設定された音声がかかります。
※ 約1分後に「**ピー**」と終了音が鳴り、監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。

〈1分以内に点検を終えたいとき〉

上記の動作中に警報停止スイッチを押すと、「**ピー**」と鳴り、終了します。
※ 上記の動作は、電源投入後25分以内の動作です。
電源投入後25分以降の点検は、P.8「警報機能の点検」「警報音声の点検」をご覧ください。
なお、オープンコレクタ出力は電源投入後25分以降の動作ではOFFになります。再度、オープンコレクタ出力の点検をされるときは電源を入れ直してから、連動点検を行ってください。

20

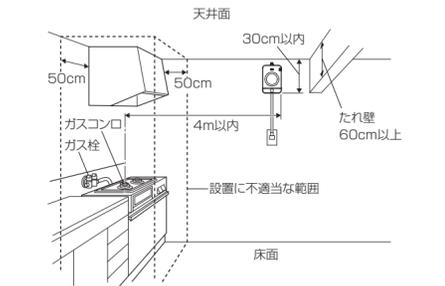
4-2 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個	ピン 長さ20mm…10本
コード振り止め…3個	
木ねじ 長さ16mm…1本	長さ10mm…3本(コード止め用)
取付フック…1個	取扱説明書(施工説明・保証書付)…1枚
接続用リード線…1本	警告表示[CO警報器が鳴ったら]ステッカー…1枚

■取付例

※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。



〈取り付けはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けられません。

- リンジフード内やレンジフード本体への取り付け。アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の多い場所。
- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの上。
- たれ壁60cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。警報が遅れたり、検知できないことがあります。
- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
- 使用時でないで電源を入れない場所。警報器としての機能を果たしません。
- 温度が0～+50℃の範囲を超える場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。
- 屋外。屋外用ではありません。
- 工業用。工業用ではありません。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。
- 振動、衝撃の激しい場所。センサの故障の原因になります。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつかう場所。感電や電氣的故障の原因になります。
- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。警報が遅れることがあります。

17

6 取り付け後の確認・点検

6-1 自動初期点検機能の確認

電源プラグをコンセントに差し込み、緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「**正常です**」と鳴って緑(電源)ランプが点灯し変わり、警報器は監視状態へ入ります。

万一、異常があれば、「**故障です** 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



※ 緑(電源)ランプが点滅中は作動点検を実施しないでください。

6-2 作動点検

○ ねがい

- この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後3分30秒間(電源プラグをコンセントに差し込んでから4分間)に限り、採取ガスに対して反応しやすいため保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後の緑(電源)ランプが点滅している間(30秒間)は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発生しないため、作動点検を行わないでください。
- 採取管の先端部分を警報器の点検口にしかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入する。
- また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすいため解除されますので、ご注意ください。
- 点検ガス採取器は、お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ガスを注入しても警報音が鳴らないときは、P.13「アフターサービス」をお読みください。
- 点検ガスをかけ続けしないでください。警報音が鳴りやまなくなることがあります。

○ 準備するもの

- 点検ガス採取器(別売品)
- ガスライター

△ 注意

アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。



点検ガス採取器

22

付属の取付フックで取り付けられる場合(石膏ボード壁専用)

△ 注意

- ピンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。
- 取付フックにピンを差し込むときは、穴が硬いので十分注意してください。
- 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
- 万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

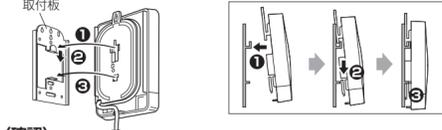
- ① 取付フックを壁面に押し当て、位置決めピンを垂直に打ち込む。
- ② 取付フックを垂直位置にした状態で、取付フックの固定ピン(左右2箇所)を斜めに打ち込んで固定する。
- ③ 本体のフック部を、取付フックに引っかける。

木ねじで取り付けられる場合

- ① 木ねじ(16mm)を途中までねじ込み、仮止めます。
 - ※ コンクリート壁の場合は、市販のカルプラグを打ち込んで木ねじを使用してください。
- ② 電源コードをコンセントまでの長さに合わせて取り出す。
- ③ 仮止めた木ねじに、本体のフック部を引っかける。
- ④ 木ねじを締め付け、本体を固定する。

既存の取付板に取り付ける場合

警報器本体を図のように取付板に取り付ける。



〈確認〉

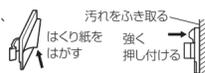
取り付けた警報器にガタつきがないことを確認し、確実に固定されていることを確認してください。

5-4 コード振り止めの取り付け

△ 注意

電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップルや釘などで固定しないでください。電源コードに重いものを置かないでください。

- ① コード振り止めのはかり紙をはがし、壁面に貼り付ける。



19

接着だけで取り付けできない場合

- ② 木ねじ(10mm)を使用する。木ねじ10mm

- ③ 電源コードをコード振り止めにはめ込む。

石膏ボード壁の場合

- ② ピン(2本)を打ち込んで固定してください。

- ③ 電源コードをコード振り止めにはめ込む。

- ※ 警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード振り止めを警報器のすぐ下に取り付け、いったんコードを真下に引き出して固定してください。
- ※ コード振り止めが接着だけでは弱い場合は、付属の木ねじ(10mm)またはピンを使用してください。

5-5 マイコンメータへの連動接続

- ① 凹部分にマイナスドライバーなどを差し込み、コネクタ封印シールを外してください。
 - ※ コネクタを傷つけないよう注意してください。
- ② 付属の接続用リード線を、警報器背面の外部出力コネクタに接続する。



- ③ マイコンメータの外部1端子に接続してください。



※ 使用可能電線…単線 φ0.65~1.2mm(AWG22~16)より線 φ0.5~1.0mm(AWG20~17)
延長可能距離…100m

20

21

23